

## 市内事業者との信頼関係を築くために、新しいタイプの職員研修を2月から始めました

今

までも「民間派遣研修」というものはありました。でも、それは「民間のサービスを勉強する」という“異業種体験研修”的要素の強いものでした。今度の研修は、ひと味違います。**目的はあくまでも市内事業者との信頼関係を築くこと**。職員がよい仕事をするためには、職員同士、職員と受益者、職員と納税者、職員と連携相手などの信頼関係が必要です。それは、お互いに隠し事をせず、胸を開いて意思疎通をすることで築かれます。そのような思いで、この2月から始めたのが、「**職場を飛び出せ！地域密着研修**」です。

地

元の個人商店等に、研修目的で職員を派遣するのは、受け入れ先の事業所にとっても、職員を送り出す市役所にとっても初めての経験です。研修参加者と受け入れ先となる事業所(派遣先事業所)を募りましたが、なかなか思うように集まりませんでした。そこで、「**前例が無い分、何でもできる**」という強い思いを武器に、商工会議所青年部や青年会議所に所属する若い経営者に直接アタックしました。その結果、全部で13の事業所の方々が、研修生を受けてくださることとなりました。

実

際の研修は、飲食店、旅館業など、土曜、日曜が“書き入れ時”の業種もあり、研修生の反応が気になりましたが、終了後はみな、すがすがしい顔になって帰ってきました。普段食べることのできないお昼の「まかない」をいただいたり、普段手にすることのない「女性用下着」を畳んだり。研修生たちは、地元の商売の現場を目の当たりに、「**一緒に汗をかきながら体験**」することができました。



経

験のない研修だったので、受け入れ先の事業所も、送り出す市役所も手探りの状態で始めましたが、事業所の皆さんは本当に親切に「研修」してくださいました。今回はパイロット的に2月に実施しましたが、**今後は、受け入れ先からの要望、反省点など考慮し、事業所にとっても、研修生にとっても、より実りあるものとしていきたい**と考えています。

今

回の研修を通じて、事業所の方々から「市役所も変わったことをするようになったねー」とよく言われました。16年度は、個別に事業所のご都合に合わせ、さみだれ式に職員を送り出そうと計画しています。また、研修させていただいた職員たちには、お世話になった事業所にこれからも足しげく通い、地域経済のことや、市政運営のことを気軽に話せる関係を深めてほしいと願っています。**この研修の達成目標は、「個人・法人事業主等と常時コミュニケーションできる関係にある職員を80%以上に」**することです。まだまだ長い時間がかかりそうですが、今後も引き続き頑張っていきます。「これからもっと変わります市役所、もっと変わりました三浦市」を合言葉に！

「地域密着研修追っ掛けレポート」は、政策経営室のホームページ「トピックス」でご覧いただけます。

(<http://www.city.miura.kanagawa.jp/info/seisaku/pm-index.html>)